

清流大川

羽地中学校
学校だより 68号
せいりゅうおおかわ
H30. 7.17



『序』 峠 三吉
ちちをかえせ
ははをかえせ
としよりをかえせ
こどもをかえせ
わたしをかえせ
わたしにつながる
にんげんをかえせ
にんげんをかえせ
にんげんのよのあるかぎり
くずれぬへいわを
へいわをかえせ

「序」という詩を聞いていたら、悲しくなりました。少し想像できました。戦争を体験したお年寄りが少なくなるにつれて怖い。いろいろな話を面と向かってしっかりと聞き、戦争の恐ろしさを忘れないようにしたい。二度と戦争が起きないように、国と国の仲を良くしてほしい。

劇団 はぐるま座朗読会



南観音小学校の佐藤さんの詩が心に残りました。食べ物に恵まれないよしこちゃんやトマトを食べたいと言いつつ、お母さんが探している最中によりよしこちゃんや亡くなっていた。原爆のせいであつたよしこちゃんをお母さんが「殺しちゃったね」と泣いている場面を想像すると心が苦しくなりました。



原爆の怖さや原爆をうけた方々の苦しみがよく伝わる朗読でした。とても分かりやすかったです。スクリーンに映っている写真と合わせるのがとても良いと思いました。自分の子孫にも平和の大切さを知ってもらえるように、いっぱい戦争の悲しさを教えてあげたいです。学校で取り組んでいる平和の教えを続けてほしいです。



被爆前の産業奨励館（原爆ドーム）

峠三吉の詩から学ぶ平和学習振り返り

一瞬にして広島を襲った原爆はとても怖かった。弟がお家の屋根につぶされているけど、何もできなかったところが悲しかった。原爆の悲惨さを改めて知ることができました。原爆は一瞬にして何十万人の命を奪った残酷なものでした。このようなことはもう一生、絶対に起こってほしくないです。なので、これからも原爆の悲惨さを忘れないように人々に伝えていってほしいです。



印象に残っている詩は「弟」「原爆の思い出」「序」「無題」そして「お姉ちゃん」です。あれをやっておけばよかったなどの後悔をしている詩で悲しかった。降伏させるために（原爆を）落としたりと正当化され、話すのをやめさせられたからこそ、峠三吉さんは詩を作るのに集中したんだと思いました。劇団をおよびしたので、平和学習は初めてだったので、どんなかなと思ってたけど、出来事をパワポイントで示しながら詩を構成して、分かりやすかったです。



大切な人を失ってしまう戦争ほど恐ろしいものはないと思いました。戦争なんて必要ない。もうしてほしくないと思いましたが。経験したくもないと思いましたが。今、日本が平和で感謝するべきだと思った。とても印象に残る詩がたくさんありました。この詩を忘れてないで、将来、平和について考える時の参考にしたいと思いましたが。

僕が一番「無題」という詩が心に残りました。あの時代である状況なら、いつでも誰でも死んでおかしくない状況だったと思います。最初からインパクトが強かったです。〇〇をかえせというのを聞くのが胸が痛んだ。やっぱり語り継いでいくことが必要だと思う。このような形で朗読は初めてでしたが、心に残るような詩ばかりでした。語り方に強弱をつけたりなど、その詩の感情などが分かりやすくて、頭に入りやすかったです。次は、劇団はぐるま座の劇を観てみたいですね。